

22A	氏名:	評価
-----	-----	----

問題6 次の文の（ ）にあてはまる語句を書きなさい。

高温 (① 多湿) の環境で、(② 水分) や (③ 塩分) の摂取が不十分だったり、激しい (④ 運動) をおこなったりすると、熱中症になるおそれがあります。年齢や (⑤ 体調不良) などの体の状態も熱中症を引き起こす要因になります。熱中症では、(⑥ めまい) や筋肉の硬直などの軽症から、頭痛や (⑦ 吐き気)、虚脱感がともなう中等症、意識障害や (⑧ けいれん) があらわれる重症まで、さまざまな症状がみられます。とくに、重症の場合には死にいたることもあります。熱中症が疑われる場合は、(⑨ 応急手当) をおこないます。一見、症状が軽くみえても、実際には重い場合があるので、経過をよく観察し、必要に応じて (⑩ 医療機関) で治療を受けます。

問題7 胸骨圧迫の方法について、文中の（ ）にあてはまる語句や数字を書きなさい。

(1) 救助者は傷病者の胸の横に膝をつき、胸骨の下半分 (胸の上下左右の【① 真ん中】) に手のひらのつけ根を置く。  
 (2) もう一方の手をその上に重ね、重ねた手の指を組む。  
 (3) (② 垂直) に体重が加わるよう両肘をまっすぐに伸ばし、肩が圧迫部位 (自分の手のひらの) の真上になるような姿勢をとり、傷病者の胸が約 (③ 5) cm沈みこむ程度の強さで圧迫する。これを1分間に (④ 100) ～120回のテンポで、できるかぎり中断せず、絶え間なくおこなう。  
 (4) 圧迫と圧迫の間は、胸が (⑤ もとの高さ) に戻るように十分に圧迫を解除することが大切である。このとき、胸から手を離してしまわないように注意する。